

第1回大阪教区北河内ブロック協議会

報告書

1 日 時 2019年12月8日(日) 午後5時～午後6時50分(懇親会:午後7時～午後9時)

2 会 場 古川橋「仙亭」8階

3 出席者 第12組 辻澤孝司 越浦龍成 澤田 見 松尾智仁 桑田和貴

第13組 洲崎善範 村上奈津子 松井 聰 入江賀彦 今井健太郎 野村正示

第14組 園原信行 長江弘樹 菴原 淳

第15組 宮部 渡 辻岡 恵 楠本史朗 沼田和隆

組教化推進部委員 小松 肇(第15組)

欠席者 藤原 忍(第14組) 松尾直哉(第14組) 小松 崇(第15組)

① 対 象 22名(名簿別紙参照)

② 会 議 出席19名、欠席3名 懇親会出席18名

③ 会 費 10,000円(懇親会出席者数にて徴収)18名分の180,000円

12組は個別にて会費を納金

13組、15組は全額組の会計より納金

14組は半額分(1名:5,000円×3名)15,000円を組の会計より納金
残り5,000円を個別にて納金

④ 会 計 会場、懇親会(料理、飲み物代)10,000円 ×18名
支払金額 180,000円 (残金0円)

4 内 容

- ・開 会 (17時) 真宗宗歌斉唱 「御本尊(絵像掛け軸)用意有」
- ・司会進行 参事会員(野村)より自己紹介含め協議会への参加御礼挨拶、出欠確認
小松肇より資料確認、レジュメ、名簿、各組の提出資料(事業計画報告等)
- ・挨 拶 教区会議長(菴原)より挨拶をいただき、引き続き趣旨説明

【協議会の進め方、内容について】

① ブロック協議会発足、開催について（趣旨）・・ 菴原 淳（教区会議長）

・ブロックの説明

① 市 内：1組～7組 ②北摂：8組～11組 ③北河内：12組～15組

④ 中河内：16組～19組 ⑤和泉：20組～23組 ⑥大 和：23組～27組

- ・現在、参事会員はブロック毎に選出されている（市内のみ2名）議長、副議長は含まない。
- ・参事会にて教区教化委員会総合調整局（コーディネート部門組教化推進部）の山口氏より教区内ブロックを情報交換、教化の場として開かれるよう参事会員にご尽力いただきたいとの依頼があり、ブロック内の参事会員と組教化推進部委員が協力してブロック協議会を発足した。
- ・ブロック協議会においては、地域における都市化、過疎化、少子化、高齢化等のさまざまな問題について、組同士の情報交換や交流の場として、寺院・教会との連携をとれる協議の場を確保し、組と組が協力し教化の場として開かれることが願われておる。

② 教区教化委員会から開催の願い等について・・・宮部 渡（総合調整局長）

- ・「大阪教区教化体制策定委員会」の最終報告書を踏まえて説明。
- ・策定委員会では、「大阪教区教化検討会議」を考え、教化機関3つに分けた。
 - ① 場を生かした一般社会に開かれた「別院教化」
 - ② 組、寺院、門徒という現場のサポートする「出向く教化」
 - ③ 教育、研究によるこれからの人の育成を主眼とする「教化センターの教化」
- ・教化の現場における教化の停滞の大きな原因として、組をはじめとする現場間の情報交換不足が考えられるので、教区内ブロックや近隣組等の関係を十分に活用したい。
- ・各組の教化委員会の設置や教化事業の内容を情報交換できるよう場の設置し、教化活動の振興を支援する。
- ・「組教化推進部」が設置されたが、この部会の委員は各ブロックに1名選出されている。
- ・組教化推進部の委員はブロック内各組に出向き教化委員会や教化事業等の取り組み方、課題等の聞き取りを行い、組間の情報交換のパイプを確保し、他組との連携を促すなど具体的な支援

のコーディネートを行う。

- ・ブロック協議会を設置するにあたり、近隣の組との交流や情報交換の場が、共同教化という寺族・門徒が共に参画できる場を生み出すことが願われている。

③ 組教化推進部からの活動報告等について・・・小松 肇（北河内ブロック担当）

- ・12組~15組のブロック内各組の教化事業等に出向き意見等を聞き取ることをメインとし、各組教化委員会との意見交換を行い、門徒の方々との共同参画を促すことが願われておる。
- ・ブロック内の教化委員会に出向いたが、北河内ブロックは教化委員会の設置もされており、教化事業も活発に行われていた。
- ・教化委員会の運営は各組によりさまざまであるが、若干組内の役職が機能されていないところもあり課題となっていることが窺える
- ・住職のみならず寺族の青年会等の設置やご門徒との事業の参画について、運営の難しさがあり新たに見直しが必要があるところも感じた。

④ 各組の教化事業、奨励状況等について・・・各組より報告

- ・先ず、組長より出席者の自己紹介（名前、役職等）
- ・配布予定の教化事業計画、報告書等を含め組の状況説明

⑤ 協議会のこれからの歩み、活動等について・・・澤田 見（総合調整局）

- ・協議会のメンバー構成について、今回の役職者は同様としプラス各組の同朋の会推進委員の方を各1名選出いただく。（14組小谷さん、15組寺本さんを選出）
- ・協議会の歩みとして、年2回開催し、1回は研修会（寺族対象）を開催する。
- ・現在の役職者が来年任期満了を迎えるため引き継ぎをした頂く必要がある。

しかしながら、発足したばかりのため引き継ぐにあたり若干名のスタッフを必要と考えます。

したがって、今回の発足にあたり試案してきたメンバー（菴原、宮部、澤田、小松肇、野村）

を引続きスタッフとして参画していく事はいかがであるか伺う。

★全委員より賛同いただいた。

したがって、引き続き5人のメンバー（菴原、宮部、澤田、小松肇、野村）には、次回（5月26日）開催にも参画し、同様に協議会が円滑に運営できるように事前会議等小委員会を開催していくことが望ましいと賛同いただいた。

- ・ 今後はブロック協議会のみならず、ブロックでの研修会、学習会等を企画し開催できるように進めていく方向性を見出していくことが望ましい。また、寺族だけでなくご門徒との共同教化を目的として行える公開講座や大会、もしくは慶讃法要のお待ち受け等検討していけば思っている。

⑥ その他（運営費等について）・・・野村正示（参事会員）

- ・ 各組よりブロック協議会へ助成していただきたい
- ・ 案として、年間各組5万円の助成
- ・ 委員の旅費はどうするか？有、無 有の場合1,000円～2,000円
- ・ 会場はどうするか？例：教務所、天満別院、ブロック内寺院、料理屋、貸会場等
- ・ 会計をどうするか？
 - A : ブロック協議会に会計を置き、各組からの助成金を予算にして運営する。
 - B : ブロック協議会に会計を置かず、1年交代（順番）にして当番組の会計に助成金を納め1年間は当番組の会計より支出（運営）する
 - C : 各組からの助成金を無しにして、1年交代（順番）で当番組が年間の運営費を支出していただく。（年間10万円～20万円程）

★各組5万円の助成は賛同を得たが、次回第2回の会議にて正式に依頼し、新年度が7月からになるので各組の組会終了後（承認後）に助成していただく。

★会計は、ブロック協議会に会計を置き、各組からの助成金を予算にして運営する。

参事会員が会計（事務局）を担っていく。

★会場は天満別院に決定。（12月9日に別院へ連絡済）

⑦ 次回の開催について（第2回開催日）

日 時 2020年5月26日火曜日 午後5時～

会 場 天満別院

参加者 新役職者（新組長、新副組長、教導、同朋の会推進委員、再任者含む）

新選出教区会議員、菴原、宮部、澤田、小松肇、野村

天満別院輪番（案）

閉 会 挨拶 恩徳讃斉唱

懇親会（18名参加）

【提案事項】 第1回の会議では案件でも無かったが、参事会員（野村）の提案ですが、
天満別院で開催するということであれば、宗敬区域にあたるので天満別院の輪番にもご参加
頂けたらどうでしょうか？

以上